



JPI催しのご案内

社団法人 日本包装技術協会 関東支部

2011

7

月

開催要領

会場	社団法人 日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日時	平成23年7月22日(金) [第1部]10:30~12:00 [第2部]13:15~15:00 [第3部]15:15~16:30
参加費	JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1部会、税込)

第1部 第46回包装情報ステーション

10:30~12:00

【テーマ】「企業経営におけるこれからのリスクマネジメントの考え方」

東日本大震災は企業経営に直接的に大きなダメージを与えただけでなく、ビジネススタイルの見直しをも迫っている。行き過ぎた日本型サプライチェーン経営に対して、変革を求めていると考えられる。

【講師】(株)日本総合研究所 総合研究部門 経営コンサルティング部 主任研究員

大畠邦夫氏

本講演では、昨今の企業経営の潮流、東日本大震災で顕在化したリスクを整理した上で、リスクマネジメントの基本的な考え方を説明し、サプライチェーン経営とリスクマネジメントのあるべき姿について、提言させて頂く。

第2部 第66回包装情報研究会

13:15~15:00

【テーマ】「高付加価値ポリプロピレン“クオリア”と“サンアロマー”の現状と今後の展開」

「クオリア®」は、一言で言い表すならば、「透明な耐衝撃（ブロック）タイプのPP」である。弊社は、従来のブロックPPでは劣っていた透明性や耐白化性をランダムコポリマー（ランダムPP）並みにまで向上させることに成功した。市場ニーズの例としては、透明成形加工品にて軽量・減容化を図る際

に課題となっていた“割れ”的リスクを低減したい用途がある。そのため、従来PPの置換だけに留まらず、他素材であるPSやPEの代替が可能な用途もある。今回は、本素材における現状と今後の市場展開について解説頂く。

【講師】サンアロマー(株) 研究開発本部 第二グループ グループリーダー

中島武典氏

【コーディネーター】(株)吉野工業所 研究室 課長 包装専士

田中啓氏

キリンビール(株) 技術開発部 パッケージング技術開発センター パッケージンググループ 包装専士

島中原文氏

第3部 第67回包装情報研究会

15:15~16:30

【テーマ】「減装(へらそう)ショッピングについて」

循環型社会形成のためには、3Rの推進が不可欠であると言われています。3Rのうち、Reduceについては、その取組の推進が難しいといわれてきています。ごみの発生抑制をするためには、上流での対策が不可欠であり、実質的に容器包装の使用量を減らすこと意味します。日々の激しい競争環境の中で、容器包装の使用を減らすことにより、アピールできる余白が減ることになり、企業経営からするとリスクを伴います。この視点から、廃棄時を考慮した商品づくりを促進するためには、メーカー1社だけでは難しいため、企業の協調体制が必要になります。上流のものづくりを担うメーカー

の廃棄時を考慮した商品づくりのための協調体制を作り、消費者にその取組や活動を周知しながら、消費者の購買行動の変化を求める活動である「減装(へらそう)ショッピング」についてお話しします。この活動は実質4年目に入り、実際のスーパー・マーケット(現場)で、ごみが少ない商品を推薦し、それらの販売動向や当該店舗の顧客のマインドがどのように変化したかを研究しています。一部のメーカーに集まってもらい、様々な意見交換や活動の支援をいただきながら、現在も活動が進んでいます。

【講師】NPO法人 ごみじやばん 事務局長 神戸大学大学院 経済学研究科非常勤講師

小住理沙氏

【コーディネーター】(株)コーセー 商品デザイン部 参事

島瀬雅美氏

キッコーマン食品(株) 商品開発本部 兼 キッコーマンビジネスサービス(株) 購買部 包装管理士

桑垣広氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

7月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員	個人会員	一般	いずれかに必ず○を付けて下さい
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部	

